

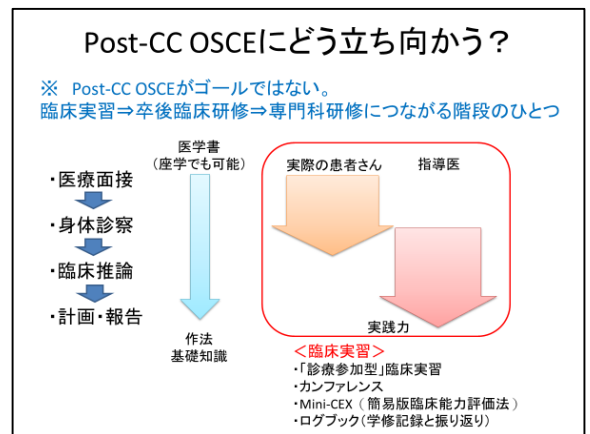
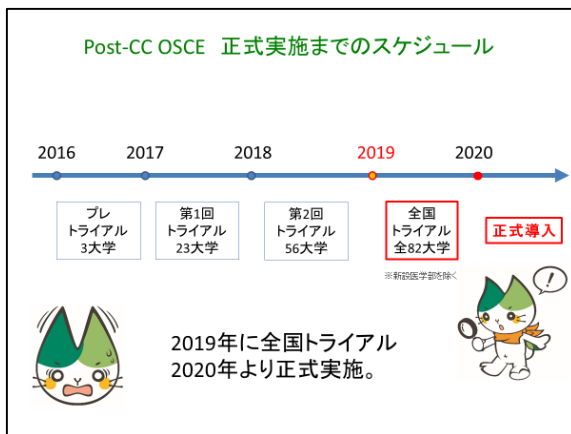
寒さのピークは過ぎ、本格的な春の訪れが待ち遠しい今日この頃ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか？まだ寒い日もありますので、手洗い、うがいの励行で風邪の予防に努めましょう。



Post-CC OSCEを7月27日(土)に実施します。

以前よりセンターニュースでお伝えしている通り、2019年度はPost-CC OSCE (臨床実習後OSCE)の全国トライアルが行われ、2020年より正式実施となります。これは医師国家試験による知識評価と並び、医師としての技能や態度を評価することを目的として構想され、卒業前の臨床技能評価として実技試験を実施するものです。ただ、国家試験のように大きな会場に集約して行われるものでなく、現在の臨床実習前OSCEと同様に、各大学単位で試験が行われます。試験内容については守秘義務がありますが、公表されている内容からは、「医療面接」⇒「身体診察」⇒「情報のまとめ、臨床推論」⇒「報告」を約20分で行う課題があるようで、その他いくつかの課題を合わせると、試験は丸一日の大がかりなものになりそうです。上記の一連の基本的臨床能力をいかに実習中に磨いていくかが鍵となり、まさしく「実習後OSCE」といえそうです。いくつかの診療科では、実習中の形成的評価として、mini-CEX(面接～診察～アセスメントを実際の患者さんで行い、指導医から評価をうける学修モデル)を実施しており、技能の成熟と試験対策に非常に有効と考えられます。教員の皆様には、引き続き、実習学生のご指導にご協力頂きますとともに、評価者として試験にご参画頂くこととなります。なお、評価者は丸一日従事としても50人前後は必要と見込まれ、各診療科には多大なお力添えを頂かねばなりません。試験の円滑な運用とともに、信頼性・妥当性の高い評価体制となるよう、説明会など随時実施致しますので、今後とも宜しくお願い致します。

今後もPost-CC OSCEの情報を発信していきますので、ご注目下さい。



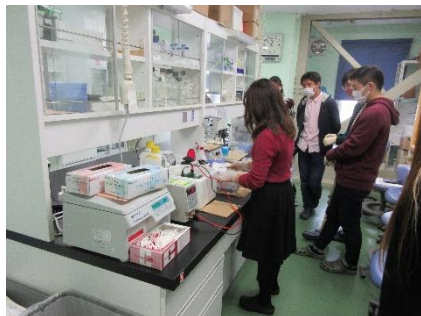
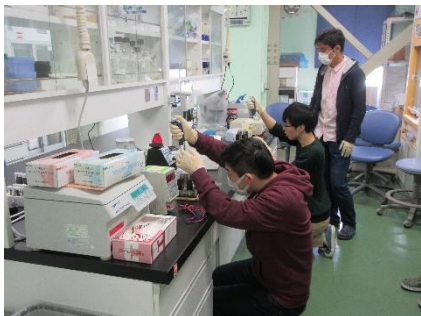
第113回 医師国家試験が施行されました。

第113回 医師国家試験が、2月9日(土)～2月10日(日)の2日間にわたり、安田女子大学(広島市)にて施行されました。2月8日(金)の朝に、谷澤医学部長らの激励の言葉を頂き、バス3台に分乗して本医学部を出発しました。医学教育学講座の教員も医師国家試験に帯同するため、医師国家試験対策委員の学生(3～5年生)と共に現地入りしました。各試験日とも、午前7時過ぎには、試験会場に向けてホテルを出発しました。寒い日が続きましたが、幸い、体調を崩した学生はいませんでした。関係者の皆様のご協力により、無事に全員、受験を終えることができました。そして、6年生の皆さん、国試、お疲れ様でした。皆さんの元に吉報が届くことを祈念しています。



2年生を対象とした自己開発コース前実験体験コースを開催しました。

自己開発コースの準備コースとして、基本的な実験手技の習得を目的とした実験体験コースを3月7日(木)、3月8日(金)に開催しました。今回は、医学教育学講座が主催し、講義棟B 4階実験室にて、ウェスタンブロットに関して行いました。皆、モチベーションが高く、熱心に取り組んでいました。実験体験コースでは、実験操作の習得に重点を置いています。さらに、実験プロトコルの意味・内容(なぜ、この実験操作が必要なのか、なぜこの順番で実験を行う必要があるのか等)についてもできるだけ考えてもらう様にしました。今夏から各々の配属先で自己開発コースが始まりますが、今回の実験体験コースで学んだことを足掛かりとして、さらに深く、研究に取り組んでほしいと思います。



ご意見・ご要望等につきましては、医学教育センターへ
お願いします。 TEL: 0836-85-3747

E-mail: mec01@yamaguchi-u.ac.jp